

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第41回部会）会議録

日時：令和5年1月12日（木）午後7時～午後8時20分
場所：東淀川区役所出張所3階多目的室

【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
(1) 情報提供
(2) 活動報告及び意見交換
(3) 地域でつくるまちプランについて
(4) その他
- 4 その他
- 5 閉会

《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ (情報提供) 第1回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会会議について
- ・ 地域でつくるまちプランについて
- ・ 活動報告

1. 開会

2. 部会長あいさつ

3. 議題

(1) 情報提供

第1回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会会議について

(事務局)

- ・ 以前から話をしていた「新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定」について、昨年10月に新大阪駅周辺地域が指定された。
- ・ 昨年の12月に第1回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会が実施された。新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会は法律に基づいて新たに設置された組織で、今後の進め方等について検討がなされている。
- ・ 事務局から新大阪駅周辺地域のまちづくりロードマップについて説明。
- ・ この協議会内には今後、部会も組織される予定であり、東淀川区長も部会に参加する予定である。

(2) 活動報告及び意見交換

【地域の活動状況】

新庄地域

- ・ 1月10日に新庄保育園がリニューアルされた。
- ・ 年末の夜警を全地域で実施いただいた。
- ・ 12月10日に障がい児をもつ親世代の交流会を実施した。現在学校に通っている子がいる親に対して卒業した子がいる親からアドバイスや経験を伝えて貰う等サポートし、地域で支え活発に活動していきたいと思う。

- ・モンゴルの異文化に触れる会を実施しました。グラウンドでゲルの設営等を体験する予定だったが、雨天だったのでモンゴル式のお茶の体験や馬頭琴の演奏を聴くことがメインだった。多文化共生で区の方針にも他国の人を地域に呼び込み新たな担い手にするといった方針があるので、地域内で継続して似たイベントをやりたいと思っている。

下新庄地域

- ・コロナ禍前に計画されていた12月10日に子ども食堂を実施した。
- ・12月24日にクリスマスイベントを実施した。
- ・12月第2土曜から地域内の2公園でイルミネーションの設置をした。これまでは、1公園だけで設置していたが2公園に拡大することができ、イベントも2公園で実施した。
- ・年末の夜警を実施いただいた。
- ・除夜の鐘を打つイベントを久々に実施した。

東淡路・柴島地域

- ・12月18日にアワナリエというイルミネーションイベントを実施した。
- ・年末の夜警を実施いただいた。
- ・1月1日には祝い太鼓のイベントを実施した。
- ・食事の提供サービス等は1月からコロナ以前の形態で実施する予定だったが、コロナが改めて広がっている事もあり、コロナ対策を継続している。

啓発地域

- ・年末の巡視を実施行った。
- ・2月11日に2年ぶりに凧揚げのイベントを実施する予定である。
- ・3月18日に延期した秋祭りの代わりに春祭りのイベントを実施する予定である。
- ・アクションプランの作成も取り掛かり進めたいと思う。

西淡路地域

- ・東淡路商店街がクリスマスイベントを実施したと聞いている。
- ・淡路本町商店街で元東宝映画館を活用したイベントを実施したと聞いている。
- ・11月19日にどっこどんという太鼓演奏で活動する団体の発表をするイベントを実施した。
- ・もと西淡路小学校跡地の活用に関するアンケートの結果が分かり次第、部会で報告したいと思う。
- ・新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会について、地域からは新たなまちづくりを歓迎する意見と共に住民参加のまちづくりを継続して欲しいと意見があった。

(3) 地域でつくるまちプランについて

(事務局)

- ・豊新地域で地域別保健福祉計画を見直すために1月から3月にかけてワークショップを6回実施する話や啓発地域からは次年度はアクションプランの作成を頑張りたいというお話があり、下新庄地域でも昨年にはワークショップが実施されている。各地域で色々な動きがある中で、それらをアクションプランに繋げたいと事務局では考えている。

- ・1つの地域で1つの計画という考えで資料を作成している。アクションプランと地域別保健福祉計画のテーマは似ている部分も多いので、包含した地域の計画を策定する方向で関係部署と連携して支援したいと考えている。
- ・具体的な進め方としては、地域でワークショップを進める時に、アクションプランと地域別保健福祉計画に係る材料を提供し、それらを踏まえて議論をしていただき、地域別の計画を策定したいと考えている。
- ・現状では、区役所から2つの計画を作って頂く事をお願いしている形になっているが、それぞれ別の形で作るのではなく、まちの目指すべき姿を示したものを1つを作って頂きたいと思っています。それが、アクションプランであり地域別保健福祉計画や地域防災計画といった色んな役割を持つ計画になると考えている。区役所の内でも関係部局と連携し進めて行きたいと考えている。

(部会長)

- ・2つの計画の作成に際して、実際に参加されるメンバーが近い構成になること等を考えると共同で計画を作ろうという考えは理解できる。ただ、これまで本部会でまちづくりのアクションプランを作ろうと議論してきた内容との整合性はキチンと取って貰いたいと思う。
- ・地域別保健福祉計画について、府や市が策定している保健福祉計画の焼き直しのようなものにならないか危惧している。下新庄地域と東淡路・柴島地域は2月にワークショップの開催を予定していると聞いている。各地域の歴史や文化を踏まえた内容で作成するようにしてもらいたい。そこに注意して頂けるのであれば、1つの計画になっても良いと思う。

(事務局)

- ・地域の歴史、現状、抱える課題、あって欲しい姿を示した上で何をするかを整理し、地域それぞれの状況を表さなければならぬと地域別保健福祉計画の担当と摺合せている。今後、連携し計画を作成する時も常にやり取りをしたいと考えている。地域の方々が計画を作るということを大事にしたいと思っている。

久教授のアドバイス要旨

- ・障がいを持った子どもの親の支援やモンゴルの異文化交流をアピールできると地域に人が集まるように思う。
- ・部会員から社協や地活協の関係について話が出たが、地活協ができた事で、地域に社共、連合長会、地活協の3つの団体があることになる。この3つの団体が上手く連携できないとアクションプランと地域別保健福祉計画を一緒にすることが難しくなってしまう。団体の連携についても意識して進めて貰いたいと思う。
- ・東淀川区は3つの団体の関係が上手くいっていると思っている。地域によっては、地活協をつくるのに2年かかった事例もある。この計画を1つにすることが3つの団体を1つにするきっかけにもなると思う。各地域でそれぞれの団体の役割や関係を良いものにして貰えればと思う。
- ・この計画の作成が新たな人材の発掘にも繋がらないかと思っている。他の地域では、現役を引退し自発的に子育て支援等を行っているのに、お住まいの地域でのデビューをしていない人がいる。これを機に潜在的な人材を発掘できればと思う。役員の方が中心にはなると思うが、広く関心のある参加者を募って貰いたいと思う。

4. その他

- ・次回の部会は令和5年3月9日（木）まちづくり協議会終了後から、東淀川区役所3階区民ホールで開催予定。

5. 閉会

以上